

平成28年度第1回北海道総合開発委員会計画部会 議事録

日時：平成28年7月12日（火）16：45～17：00

場所：KKRホテル札幌 3階 鳳凰

出席者

【委員】 山本委員 畠山委員 大賀委員 中村委員 高橋委員 能登委員 6名出席

【北海道】 窪田総合政策部長 岸計画推進担当局長 石川計画推進課長

（岸計画推進担当局長）

恐縮ですけれども、時間も押しておりますので、早速、北海道総合開発委員会の計画部会を開会いたします。委員の皆様には、引き続き、よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議資料ですけれども、次第、配席図、部会名簿、出席者名簿のほか、会議次第の下の枠内に記載している資料をお手元に配付しております。先程の資料と同じです。

それでは、議事に入らせていただきます。本日の部会では、新しい体制となりまして最初の部会ですので、部会長、副部会長が選出されるまでの間、私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最初の議題は「部会長、副部会長の選出」でございます。

部会長は北海道総合開発委員会条例施行規則第5条第3項により、部会に属する委員のうちから互選すると定められております。いかが致しましょうか。

発言なし

特になければ、事務局提案ということでよろしいでしょうか。

異議なしの声

ありがとうございます。それでは、事務局から案を出させていただきます。前回に続きまして、部会長を山本委員、副部会長を高橋委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

異議なしの声

ありがとうございます。ご賛同をいただきましたので、部会長を山本委員、副部会長を高橋委員にお願いすることといたします。それでは、山本委員は部会長席にお願いいたします。

それでは、ここからの議事の進行は山本部会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（山本部会長）

ありがとうございます。ただいま、部会長を仰せつかりました山本でございます。高橋副部会長と一っしょに、皆様のお力添えをいただきながら、この部会を円滑に運営していきたいと

思います。ご協力、よろしくお願いいいたします。

この部会の仕事でございますけれども、先程の総合開発委員会の方で、委員長から付託されましたように、この部会のミッションは「北海道総合計画の推進に関すること」であります。この部会の仕事というのは、新しい総合計画の推進に関して議論を行います。これからの2年間に、計画推進の基礎を作るということございまして、非常に重要な時期であるということは、私も認識してございます。

委員の皆様、各分野の専門の方でございますので、ご見識を十分に活かしながら、積極的に助言、指導を行って、これからの北海道づくりに努力していきたいと思っております。私もがんばりたいと思っております。

同時に、皆様、ご多用とは存じますけれども、前回、前年度から引き継いでの委員の方もいらっしゃると思いますが、一層のご協力をお願いいたしまして、簡単でございますが、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいいたします。

それでは、続きまして、高橋副部会長からご挨拶をお願いいたします。

(高橋副部会長)

ただいま、副部会長を仰せつかりました高橋でございます。座って失礼いたします。今、山本部会長からお話がありましたとおり、本部会が果たす役割は、極めて重要だと思っております。計画を立てて、これからスタートしようとする、スタートを切るという意味では、車もそうですけれども、動き出す時が、一番、力があるのです。また、動き出した計画を、本当に動いているかということをチェックするという意味でも、この部会の極めて重要な点だと思っております。今後は、部会長を補佐いたしまして、円滑な運営に努めていきたいと思っております。是非、皆様のご協力をお願いいたしまして、簡単ではございますが、就任の挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいいたします。

(山本部会長)

よろしくお願いいいたします。ありがとうございます。

それでは、早速、議事を進めさせていただきます。議事の2番目でございます。「今後のスケジュール」について、事務局から説明をお願いいたします。

(石川計画推進課長)

今後のスケジュールについて、ご説明させていただきます。計画部会におきましては、先程の委員会でもご説明申し上げましたけれども、「政策の課題や展開方向」といったものを検証いただくこととしてございまして、部会の開催につきましては、原則、年2回としたいと考えてございます。

今回の開催でございますけれども、本年10月頃を予定してございまして、この部会におきましては、道の施策や事業の取組状況などにつきまして、皆様からご意見をいただきたいと考えているところでございます。委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

(山本部長)

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に対しまして、何か質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。割とシンプルなので、このように粛々と進めたいと思います。

それでは、計画部会、今の説明のとおり、年2回ということで、次回は10月頃を予定していると考えております。委員の皆様には、また、後程、日程調整させていただくと思いますが、よろしくお願いいたします。

次に、「その他」とありますが、何かございますか。特にございませんか。

それでは、本日予定した議事はこれですべて終わります。ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

(岸計画推進担当局長)

山本部長をはじめ委員の皆様、本当にありがとうございました。最後に、窪田総合政策部長よりご挨拶いたします。

(窪田総合政策部長)

昨年に引き続きまして、総合政策部長を務めてございます窪田でございます。委員の皆様におかれましては、引き続き、よろしくお願い申し上げます。また、今日は長時間にわたりご出席を賜り、貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

昨年1年間かけまして、この計画を策定してまいりまして、1つの成果物として、先程お配りしたように、冊子というかたちでまとめさせていただきました。今年からは、先程、部長からもお話がありましたとおり、この策定した計画の推進及び管理ということでございますので、委員の皆様からもご意見がありましたように、何よりも「絵に描いた餅」にしないためには、一歩でも二歩でも着実に歩みを進めていかなければいけないということでございます。

先程、10月に今回の開催ということでお話を申し上げましたが、現在、道の行政管理を担当する部署で、政策評価のシステムを作っております。計画に掲げた政策の柱ごとに、政策評価をして、それを、この次、こちらでお示しをして、いわゆる実効性が確保できるためのPDCAサイクル、Plan-Do-Check-Action、このサイクルを確立するための評価の検討を行っています。これまでは膨大な評価資料で、我々道の職員が見ても、1つの

事業に1枚1枚の資料が付いて、百科事典のように積み上がって、とても見る気がしないようなものであったのですが、それを改めて、わかりやすいかたちで、施策の柱ごとに、どこまで達成できたのかというようなことをお示しできるようなかたちで、現在検討を進めてまいります。

さわさりながら、役所の仕事でございますので、やはり「見づらい」とか「何を言っているかわからない」といったことも出てくるかと思えますけれども、そういった点も皆様方からご意見をいただきながら、1つ1つ改めて、この計画が実現に向けて着実に歩みを進めていけるよう、我々としても努力して参りたいと思います。引き続き、ご尽力を賜ればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本当に、今日は、長時間にわたりまして、ありがとうございました。

(岸計画推進担当局長)

以上をもちまして、計画部会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。